



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」  
— 気付き、生かす —

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 67 号  
令和 4年 2月28日

## 1 年校外学習で得たもの

校長 古市 直彦

2月24日(木)に行った1年生の校外学習では、今まで以上に感染予防に力を入れて実施しました。朝、生徒が登校して体育館に入る前にまず検温をし、バスに乗る前にも検温と消毒を実施。会場に入る前やお仕事体験のあい間にも頻繁に検温や消毒を繰り返しました。お仕事体験をするブースでは、各グループの体験が終わる度に施設の方が道具等の消毒をしてくださっていました。生徒も密にならないように自制して行動できており、昼食時の黙食も徹底できていました。写真撮影時のみ短時間、マスクを外すこともありましたが、「マスクを外したら会話は無し」も、徹底しました。「すぐーる」での回答で参加を承諾していただいた保護者の皆様の中からは、「参加させるけれど、やはり感染は心配…」というご意見をいただいておりますし、日常の学校生活も含めてリスクがゼロにはできない状況の中での実施でしたので、できる限りの対策は講じさせていただいたつもりです。

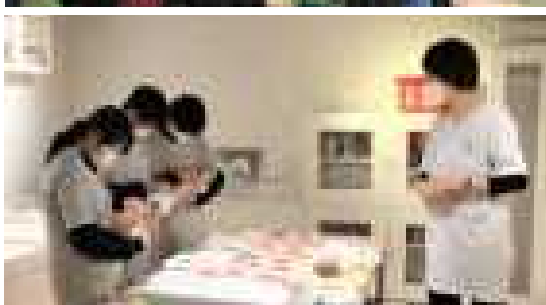
内容に関しても『カンドゥー』では、中学生は楽しめないのでは…」というご意見もいただきましたが、今回は特別に中学生向けの講話(90分)もお願いしておりましたし、生徒が5つずつ体験したそれぞれの「お仕事」も中学生を意識したものにアレンジしてくださっていました。全ての活動を終えて会場を出るときに「あー楽しかったぁ」と呟いてくれていた生徒もおりまして、私が乗ったバスの中で「楽しかったですか？」と聞いてみたところ、ほぼ全員が手を挙げてくれていたように見えました。お宅ではいかがだったでしょうか。

「皆楽協締」というスローガンのもと実施した今回の校外学習。「皆が楽しむ」という部分は達成できていたようです。

また、校外学習は楽しむだけではなく学習の一貫として行っています。学年主任からは、

- ①場所が変わっても普段できているABCを意識。
- ②リーダーを中心に自ら考え、自ら考動。
- ③自分の役割に責任をもち、土台固めを。

の3点が課題として出されていましたが、生徒一人一人の行動から、その課題がしっかりと意識できていることがわかりました。



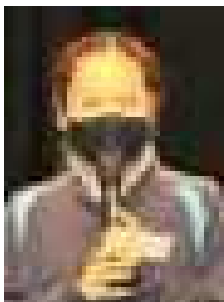
警察官の生徒に捕まった不審者。その正体は実は…

今回、校外学習実行委員長を務めてくれた、 \_\_\_\_\_  
さん（1-1）に感想を聞いてみました。

今回の校外学習は、コロナウイルスの影響で、制限も多くありましたが、その中でできることをやり「皆楽協締」を達成することができたのではないかと思います。事情があって参加できない人もいましたが、参加できた人は全力で学び、楽しむことができたと思います。

どんな仕事にも、将来働く際に必要な大切なことや、日常生活にも生かせるようなことが多くありました。

ですので、この校外学習を通して学んだたくさんのことをしっかり生かしていきたいと思います。また、今回の校外学習に携わってくれたたくさんの人たちに感謝したいと思います。



実際に体験してみることで学べたことも多かったようです。「皆楽協締」というスローガンの、「協力して締めくる」という部分も、立派に達成できた校外学習になりました。

「カンドゥー」ではお仕事をした報酬として「カッチン」という疑似通貨をいただくことができます。今回の校外学習では、その「カッチン」を使って全生徒に記念のボールペンをいただきましたが、「カッチン」だけではなく、たくさんの物をいただくことができた校外学習になりました。

制限のある中での活動でしたが、楽しもうとする心があれば、皆で楽しむことができます。学ぼうとする心があれば、たくさんのことを学ぶことができます。そんなことを感じた校外学習でした。



「カッチン」の贈呈式

## 🎪 主な行事の様子です 🎪

### 2年「いのちを守る教育」（2月25日）

千葉市では、小学校5年生と中学校2年生を対象に「いのちを守る教育」を実施しています。自他の生命を尊重する態度を育て、心肺蘇生法とAEDの使い方についての知識や技術の習得を図ることを目的としています。本校では、例年、体育館で2クラス合同で行っていましたが、本年度は、特別教室2教室に分散し、できる限りディスタンスを確保しながら行いました。心肺蘇生のための胸部圧迫の体験や、トレーニング用のAEDの使用体験を行いました。

